

№.328

2021年11月20日

ぶら新報

DEBERA SHIMPO

広島県中小企業家同友会 尾道支部 会報誌

【尾道支部 2021 年度スローガン】 自社のために、同友会を活用しよう！～課題を持ち寄り、共に解決しよう！～

3,000名会員達成に向けた
キャッチコピー

集え！燦然(3,000)と輝く広島同友会！～すべては行動することから始まる～

【新会員紹介】

お客様とメーカーを

円滑につなぐ存在に。

広菱産業有限公司

取締役

伊豫本 圭司氏



今月の見どころ

INDEX

経営フォーラム 2021 が 10 月 5 日～6 日にかけて開催されました。記念講演は岡吉村 橋本氏（東京同友会 副代表理事・中同協女性部連絡会副代表）に報告いただきました。「例会発表時には参加者の経営のヒントにさせていただくために、『なるほどっ』と2つ以上はメモするような報告にする」との言葉が印象的でした。青年部会 10 月例会では報告を通じ、自社と向き合い学びと改善を繰り返す大切さを学びました。尾道支部の例会にも経営のヒントがございます。ぜひ例会に参加して、経営のヒントを持ち帰りましょう。

P2-3…経営フォーラム 2021

P4…新会員紹介

P5…青年部会例会

P6…支部理事会報告

P7…行事案内

P8…「インボイス制度」について

経営フォーラム 2021

広島県中小企業家同友会 創立 48 周年記念行事 経営フォーラム 2021

NX ネクストトランスフォーメーション～次なる進化をとげよ～

■記念講演

「変化を味方に！！ 中小企業の底デカラ」

～次なる進化をとげる (株)吉村の七転八倒物語～

■報告者：(株)吉村 代表取締役社長 橋本 久美子 氏
(東京同友会副代表理事、中同協女性部副会長)

■とき：2021年10月5日(火) 18時30分～21時 ■会場：Zoom

「なるほどっ」と2つ以上はメモするような報告に

広島県中小企業家同友会 経営フォーラム 2021 が 10 月 5 日、6 日に Zoom や Youtube を駆使しオンラインで開催されました。基調講演は東京同友会 副代表理事・中同協女性部連絡会副代表の、株式会社吉村 代表取締役社長 橋本久美子さんの報告でした。株式会社吉村は、主にはお茶っ葉の包装資材を企画、製造、販売を手掛けられている会社です。報告の冒頭のお話から私は引き付けられました。



【例会発表時には参加者の経営のヒントにさせていただくために、 「なるほどっ」と2つ以上はメモするような報告にする】

体験報告をする際に聴く人に持ち帰って戴くことを意識することは、経験を重ねないとなかなか難しいです。逆に私たちは報告を聴く際に「何かを持ち帰ってやる」という意識も必要なんだと思いました。そんな気持ちで基調講演を拝聴しました。報告の内容ですが、橋本さんが社長に就任される際に先代から、「明日のメシ担当」と言われたそうです。副社長は「今日のメシ担当」だったそうです。今やっている事業は副社長が指揮、管理を行い、橋本さんは 5 年後、10 年後の事業を創出するというものでした。

勿論、そのために組織づくり、社員さんの教育、意識改革も含まれていたと思います。中小企業の経営者はプレイングマネージャーが多いと思いますが、あれもやってこれもやるのは本当に大変です。「明日のメシ担当」という役割はシンプルでいいと思いました。

結果、お茶っ葉を入れる袋屋さんなのにお茶を持ち運ぶボトルの販売、お茶の売り方、お客様であるお茶を売るお店の客層の若返り提案、お菓子の販売まで提案を行うようになったとのこと。これは社員さんからの発案であったそうですが、そのような提案が出てくる橋本さんの社風、仕組みづくりが素晴らしいと思いました。

具体的な取り組みは「社員さんは基本的に正社員」「収益の均等還元」「情報公開、自由な発言がし易い会議づくり」そして「経営理念の共有」です。また、クレームを活かしての改善、進化があったということです。日ごろからクレームは宝の山と言いますが、それを生かすのも難しいのが現実です。

コロナ禍の対応も、何が正解かが分からないけど社員全員の在宅勤務、Zoom 入社式を取り入れ、理念に照らして考えることによりその時の最適解を導いている印象でした。

これからの取り組みも「できる できない」ではなく「やりたいか やりたくないか」、ビジョンも社員からの公募で決めたり、社員中心の企業づくりが非常に印象的でした。経営者として大切な学びを戴きました。

今回の基調講演での 2 つの「なるほどっ」は例会での「何かを持ち帰ってやる」という意識と、経営者としての大切な役割である「明日のメシ担当」です。

皆さん、頑張りましょう！ありがとうございました。

(株)パイオニア電子計算センター 岩田浩一



各分科会の様子



第1分科会

報告者 (株) タイ・アンド・ギー 板坂 裕治郎 氏



第2分科会

報告者 (株) ジェイ・スマイル 松下 仁 氏



第3分科会

報告者 (有) シャルダン商会 藤田 哲也 氏



第4分科会

報告者 (株) スグル食品 大塩 和孝 氏



第5分科会

報告者 華ごころ ((株) エムエイチ) 宮岡 睦尚 氏



第6分科会

報告者 映クラ (株) 山西 建三 氏

新会員紹介

お客様とメーカーを円滑につなぐ存在に。

広菱産業有限会社 取締役 伊豫本 圭司氏



◎自己紹介をお願いします。

1989年1月生まれ、尾道生まれ・尾道育ちです。三原東高等学校を卒業し、奈良の帝塚山大学に進学しました。そこでは心理学を専攻していました。大学時代にボクシング部に入部し、かなり熱心に打ち込んで練習していましたので、その時の経験が自分自身の自信になり、仕事をする上でも生きてくることができました。

大学を卒業後、土木関係の機器を扱うレンタル営業の会社に入社し、横浜営業所に配属され、都内をメインに営業の仕事をしていました。5年間ほど働いた後、実家の会社である、広菱産業有限会社に承継者として入社いたしました。正直、広島に戻ってくる気はなかったのですが、親の説得もあり、地元に戻ることを決意しました。

最初は尾道本社で、父である社長のもとで海運業界の風土や仕事を覚えていきました。3年間ほど尾道で仕事をして、現在は丸亀市の営業所長として、造船所へのルート営業と管理業務をメインとして働いています。

◎仕事内容を教えてください。

広菱産業は現在64期目で、自分が3代目になる予定です。

仕事内容は主に造船所に対して、機関室に搭載する三菱製の機器の営業と管理、船主さんにメンテナンスパーツなども卸販売しています。

三菱船用機械部門の瀬戸内地区の代理店であり、造船所へは主に油清浄

機、舵取り機、荷役装置などの機器を納入しています。船を運航させる上で重要な機器であり、直線で300メートルを超すような、巨大な船舶から小型船まで搭載されており、今現在も世界のどこかで安全に稼働していると考えたらやりがいを感じます。またルート営業ならではの人の脈の拡大や担当者との信頼関係をとても大事にしています。

◎仕事のこだわりはなんですか？

私たちに求められるのは、メーカーが他県の遠いところにあるので、瀬戸内のお客様のところに密に関わって、ニーズや要望を聞き出し、ピックアップし、それらをメーカーにフィードバックし、より良い商品開発につなげていくことにあります。船主や造船所に対しての総合窓口であり、相談やご要望を受けて困りごとを解決することで、お客様にとってより良い商品の提供と関係性が作れていければと考えています。

ワールドワイドで運航していくような、巨大な商船に搭載される機器類なので、不具合があっては大変です。ですので、そのようなことがないように、船主や造船所とメーカーを円滑につなぐ役割を担い、お客様に求められる存在になっていければと思っています。

これまで専業商社として、ニッチな分野にこだわって営業を続けてきたので得られている信頼と実績があります。

◎最後に、夢を聞かせてください。

いま、造船業界は不景気ですが、先代、先々代から受け継いできた60年の歴史を守り続けていきたいですね。私は従業員さんを仲間と思っており、その仲間たちが広菱産業に入ってよかったと言ってもらえるような経営環境にしていきたいですね。

あとは丸亀の営業所は若いスタッフばかりなので、より良い体制と関係を作っていければと思います。

自分が60歳くらいになったら次の世代にまた承継していったら、歴史を紡いでいければと、そう願っています。

個人的には大学の頃ボクシングをしていたので、また何か違う格闘技を習ってみたいですね、ちょうど丸亀は少林寺拳法の総本山がありますので、また鍛え直していきたいですね。

ありがとうございました。(文・写真：上田)



青年部会

10月例会

次なるステージへの挑戦

■報告者：(株)レガス 代表取締役 石田晃大氏
■とき：2021年10月26日(火) 19:00 ■会場：Zoom

学びと改善を繰り返し、更に会社が成長する

事業承継した会社で、現会長に会社の成績・状況を電話で聞かれすぐに答えられる準備をするために、数字と向き合い続け、数字に強くなった石田氏。売上の壁を自身で設定し M&A にも挑戦。しかし売上を追求するも社員への負担が大きくなり退職者が出た。そこで従業員満足も共に向上させないと会社自身の成長はなし得ないし、ES・CS のバランスが重要だと気づき行動へ。ホールディングス化したいという未来への第1歩を歩み始めた石田氏はこの例会を通じてさらなる武器を増やし、従業員幸福度を向上させる決意をした報告となりました。

自身の会社と改めて向き合うことで、新しい壁が出現することはよくあります。その壁は必ず超えられる壁としてその人にだけ現れます。今回の報告を作る中でもたくさんの課題が見つかったと石田氏も話されていました。日々の仕事も同友会活動も同じではないでしょうか？例会を通じ自社と向き合うきっかけを与えていただくことで学びと改善を繰り返し、更に会社が成長する。改めてそんな気づきを与えてくれた例会となりました。

私自身 CS 重視の経営でしたが、ES から得られる CS と幸福度の追求も考えてみる必要がありそうです。新しい世界が見えるかも。

(有)I WILL 安達 亮



■ 開会挨拶（岩田副支部長）

文責 事務局 橋詰

弊社は57期を迎えました。3～4か月後の情勢が見える業界ですので、今期は赤字予想をしています。ですが、「例年並みの利益を残せようかな」というところまで持ち直してきました。これは社員の皆様が目標に向かって努力いただいた成果です。会社の力を感じることができたと思います。業界でいいますと、2年後にあたる2023年にはインボイスが導入され、請求書の見直しが入ります。電子データを活用しなければなりません。弊社としては、インボイス導入に関する基本的なところを押さえることで、関わりのあるお客様にお返しできる機会でもあります。これからの取り組みが課題です。60周年を迎えますので、当社としては画期的な取り組みを社員と共有しながら取り組んでいければと思います。

■ 確認・報告事項

※10月支部例会（経営フォーラム参加）の振り返りを行いました。
※今後の支部例会の準備状況について報告しました。

■ 県理事会の報告（山本支部長）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。
※広島同友会の設立50周年に向けた話題が終始ありました。増強プロジェクトより、各支部組織委員会を正副3名体制で行い、増強に力を入れようという話がありました。

■ その他

※アンケート追加項目について（岩田副支部長）
→意見交換の結果、項目の追加が承認されました。
→提案された項目案に「経営理念の共有・経営指針の浸透」を追加することが確認されました。
※新会員オリエンテーションについて（川口組織委員長）
→意見交換の結果、12月8日に開催されることになりました。
※役員選考委員会からのお知らせ（浮田副支部長）
→来年度の新役員候補が出そろいました。12月の支部理事会から議案書の作成がスタートしますので、現新垣事全員に、来期への引継ぎもふくめ、12月支部例会に参加いただきたいと思います。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（川口組織委員長）
入会希望者0名
退会希望者0名
移動1名
（弁）尾道しまなみ法律事務所 橋本 則利 氏
尾道支部から福山支部へ
※会員数は106名です。

■ 委員会・部会の報告

※経営労働委員会（坂口委員長）
東部エリアの経営基礎講座は無料で参加できます。経営指針を作りたい方がおられたら、ぜひお誘いください。
※青年部会（中本部会長）
増強活動として、山本支部長と一緒に会社訪問を行いました。現在、青年部では商工会議所のデータをもとに訪問を行っています。現在1400社残っています。同友会に興味がある方もいらっしゃいました。150名をめざす中で、どうすれば人が増えるかを考える必要があります。ぜひ、支部理事の力添えをいただきたいです。組織委員長も含めて、動き・仕組みを作っていく必要があります。ペアリング制度として、本会と青年部会、一緒にアプローチをする等、仕組みをつくるのが大切です。今期・次期組織委員長で仕組みづくりをご検討いただけますと幸いです。

■ テーマ：自社の来期の展望について 進行：議長

※岡浦島川口氏から報告がありました。
※その後、2つのグループにわかれて、グループ討論を行いました。グループ討論のテーマは「来期の展望を語り合おう」でした。
まとめ：議長
尾道支部会員の中には、コロナ禍の影響を受けているところもあります。前を向いて明るい、ワクワクする展望を持つこと。事業領域を見直してチャレンジをしていくことが大切です。
新しい分野に成長していくことが、企業成長を促す原動力だということが、グループ討論で確認ができました。色々な刺激を受けることができました。明日からの経営に活かせるのではないかと思います。

■ 閉会挨拶（浮田副支部長）

役員選考委員会で、忘れかけていたことを思い出しました。同友会のために同友会をやっているわけではありません。会が良くなることも必要ですが、その前に、この活動に何の意味があるのかということが大切です。リアルで会えれば会えるほど痛感します。今日は、今日明日から、改めて何を意識しなければならないか、ということを目分なりに感じました。
支部例会もどんどん活発になれば、コロナ禍を笑いごとにして、次に進めるのではないかと思います。

■ 次回の理事会

12月1日（水）19:00 しまなみ交流館
※開催方法は新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら判断します。

尾道支部 12月委員会・部会行事のご案内

総務委員会

■日 時：12月9日（木）
■会 場：Zoom
※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

企画委員会

■日 時：12月7日（火）
■会 場：Zoom
※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

経営労働委員会

■日 時：12月2日（木）
■テーマ：東部エリア経営基礎講座

政策環境委員会

■日 時：
■会 場：
■テーマ：

青年部会

■日 時：12月22日（水） ■会 場：Zoom
■報告者：
■内 容：
※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

組織委員会

■日 時：12月14日（火）
■会 場：
■内 容：

広報委員会

■日 時：12月20日（月）
■会 場：
■内 容：でべらについて

求人社員教育委員会

■日 時：
■会 場：
■テーマ：

中期ビジョン推進委員会

■日 時：12月20日（月）
■会 場：Zoom
※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

女性部会

■日 時：
■会 場：
■内 容：
※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

12月支部例会

「 尾道企業家の語り場 」

■日 時：12月16日（木）
■会 場：Zoom

スケジュール

2021年12月								2022年1月														
1	2	7	9	14	16	20	20	22					4	5	11	13			17	17	19	20
支部理事会	経営労働委員会	企画委員会	総務委員会	組織委員会	12月支部例会	広報委員会	中期ビジョン推進委員会	青年部会					企画委員会	支部理事会	組織委員会	総務委員会			広報委員会	中期ビジョン推進委員会	青年部会	1月支部例会「新春講演会」

ご存知ですか？対策はできていますか？ 「インボイス制度」について

2019年10月の消費増税に伴い、同時に軽減税率も導入され、現在2種類の税率が存在している状況です。対応策として政府は、取引の透明性を高め正確な経理処理ができるよう、2023年10月より「インボイス制度（正式名称：適格請求書等保存方式）」の導入を決定しました。この制度の導入により、中小零細事業者の事務的な負担の増加、経済活動の停滞等、多大な影響が出ると危惧されています。特に一人親方やフリーランスの方々にとっては死活問題と言ってよく、彼らと取引のある事業者の皆さんにも多くの負担や混乱が生じることになります。既に本年10月より、適格請求書発行事業者（＝登録事業者）の登録申請の受付が開始されています。再来年の制度導入に備えて、私たちは具体的に何をどうしなければならないのか、詳しく知り、各々で対策を練っておく必要があります。

↓詳しくはコチラ！（国税庁HP内 インボイス制度特設ページ）

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

政策環境委員会 委員長 徳永剛志

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F

T E L：084-923-0286

F A X：084-923-0284

e-mail：fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】山本 浩矢

【広報委員長】上田 昇辰



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e.doyuのスマホ版が便利！



QRコードから簡単ログイン！